

高崎食品衛生協会の創立70周年記念式典が29日、高崎市内のホテルで開かれた。関係者85人が節目を祝うとともに、食品衛生の向上に力を尽くしてきた歩みを振り返った。

市川豊行会長は協会の歩みに触れ、「特にこの10年はコロナ禍もあり厳しい時期を過ぎ

創立70周年祝い 歩みを振り返る

高崎食品衛生協会が式典



70年の歩みを振り返る市川会長

た」と強調。式典では、落語など参加者に楽しんでもらえる企画を用意したと紹介した。

式典を取り仕切った大熊章之実行委員長は「これからも市民の安全と公衆衛生に努めて

いく」と決意を述べた。富岡賢治市長が飲食業の振興などをテーマに講和したほか、同市在住の落語家、立川志の彦さんが口演した。同協会は、市内の飲食業や食品製造に関わる事業者が加入。飲食店への衛生巡回指導や講習会を実施している。

(真下達也)